

HON TAN

図書館ボランティア「本探」が
旬の図書館情報をお知らせします☺

2014年8・9月号
(第49号)

HON TAN 9 PIECES

今回のテーマは、
「外にお出かけ
したくなる本」
ですよ!

SOUのおすすめ
たかひでるこ
778.72/G
2Fマルチメディアフロア
『ガンジス河で
バタフライ』
ハチャメチャな作者の
初の海外旅行記。

naoのおすすめ
児童文学者協会
1F雑誌架
『日本児童文学 vol.51 No.1 2005/2/1
<ズッコケ三人組>と<クレヨン王国>
ハチバエ・ハカセ・モーちゃんの3人組
(による波乱万丈ドタバタコメディ)

あんの
おすすめ
- 柚木麻子
913.6/Y
『ランチのアッコちゃん』
おいしいものを食べに
色んなところに出かけましょ!

かなづちの
おすすめ
古川日出男
913.6/F
『サマーバケーションEP』
夏休みにぐりりと東京を
巡りたくなる一冊です。

のぞみのおすすめ
- 万城目学
913.6/M
『鴨川ホルモー』
京都の町を東奔西走!!
伝説競艇「ホルモー」を巡る熱い青春ストーリー

伊えのおすすめ
森見登美彦
913.6/M
『夜は短し歩けよ乙女』
読むと「何かおもしろおかしいもの」を
求めて夜の街に飛び出したくなる本。

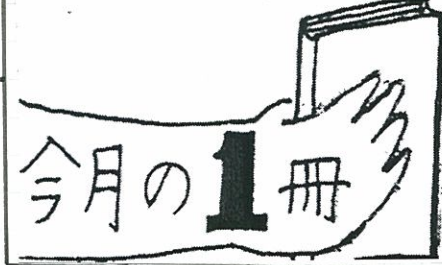
スーモのおすすめ
- 尾形真理子
913.6/O
『試着室で思い出したら、
本気の恋だと思う。』
その洋服で、あなたは
誰に会いに行きますか?

セ味の
おすすめ
- スティーヴン・キング
山田順子訳
933/K
『スタンド・バイ・ミー:
恐怖の四季秋冬編』
少年たちの二日間の旅物語。少し怖い
お話ですが人気のない所を旅してみたいです。

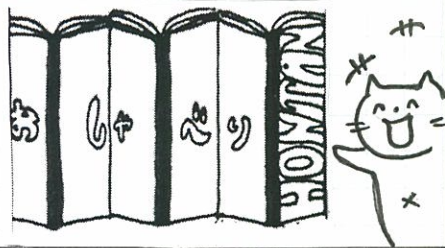
せいの
おすすめ
- 291.087/N
『日本一の写真集』
日本最大の景色など一度は行ってみたい
魅力のある場所が盛りだくさん!

『ペンギン・ハイウェイ』 森見登美彦 913.6/M

「怒りそうになったら、おっぴいのことを考えるといいよ」
主人公、アオヤマくんの発言である。小学4年生でこんなことを言うのだ。
先が思いやられる。こんなちよっぴりオマセなアオヤマくんは、宇宙の話だとか
相対性理論だとか難しい話が大好きで、日々学んだ知識を大好きな歯科医の
お姉さんに披露するのだ。
また、近所の川の探検やら、町に突如として発生するペンギンやら、歯科医のお姉さんやら、いくつかの研究
を行っている。こんな向上心に溢れるアオヤマくんがクラスの女の子からモテるかどうかは知らないが、おっぴい
のことはガリ考えている彼を心配するウチダくんや、おっぴいのおい強気な女の子ハマモトさんという仲間
に恵まれ、ともに研究を行っている。さて、そんな順風満帆な彼が生まれないわけがなく、クラスの
いじめるスズキくんにもげつない仕打ちを受けたりする。しかし、そこはアオヤマくん、持ち前の頭脳
とおっぴいを考えることで見事にセカリ抜けてゆく。痛快である。
さまざまな研究課題を抱え、そして乗り越えたアオヤマくんは神様はひとつ、乗り越え難い研究
課題を与える。理不尽はこの世の常である。僕たちを怒らせ、悔しくさせ、無力にする。多くの場合
仕方ないと諦め、現実を見て生きてゆく。それが大人になることだという人もあるだろう。
しかし、アオヤマくんならば、おっぴいのことを考えながらそんな理不尽をも見事にぶち壊して



HONTAN メンバーが
本に関することを語ります!



今回のテーマは

「前期のあいだに読んだ本」

伊上 わたしが前期のあいだでよく読んだのは、池井戸潤さんの「半沢直樹」シリーズですね。前期のあいだというか、二年生のときから数十回としてよく読み返してきましたが(笑)今も電車の中で読んだりしがやっぱり何回読んでも後半の展開で鳥肌が立ちます。大女子きです。

あんこ 半沢直樹シリーズ読んだことないので、読んでみたくなりました!何回読んでも鳥肌が立つなんて...素敵です。

あんこ わたしが読んだのは短編集の作品ですね。空いている時間に読めるので!百田さんの『幸福な生活』がよかったです。おすすめです。後期は有名で名前聞いたことあるけど読んだことない!作品を覚えてみるつもりです。夏目漱石、ヘミングウェイ...

のぞみ 数十回読み返ってます!!!僕は『俺たちバブル入行組』だけ読みました。原作を読んでからドラマを見たのですが、大きく展開が違ったためそれぞれ1つの作品として楽しめました。百田さんといえは『永遠の0』が有名ですね。数か月前に興味があって買いましたが、いまだ読んでません...悪い癖です...

さて、僕は森見登美彦さんの『聖なる急げ者の冒険』を読みました。大事な仕事が終わったあとに読むと、重たい肩の荷がおりてほっとする...かもしれないです。おすすめですよ。

七味 わたしは普段、ミステリーやらホラーやら暗い本ばかり読んでるので、前期は逆に明るい本を読んでみました。特にHONTANピースで紹介されていた古川日出男さんの『サマーバケーションEP』は僕もさわやかな作品で夏にぴったりの本でした!

きょう 半沢シリーズ!そういえば、去年、伊上さんに半沢シリーズおすすめされたなあと思い出しました(笑)百田さんとか森見さんはあまり読んでないです...手は出したんですけど...!私は七味さんと違って、明るい本ばかり読んじやうから、たまには暗い本を読もうと思って矢部浩之の『魔女のこどもはやてこない』という本を読みました!(北星図書館にはありません。申し訳ない...)基本はファンタジーな話なんですが、所々にグロ要素があってそのギャップがとてもおもしろかったですよ!



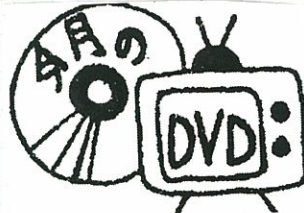
「ROCKIN'ON JAPAN」
8月号

邦楽ロック、ポップスを専門に扱う音楽雑誌です。今回の特集は、

6人組ロックバンド UVER worldのTAKUYA∞。ボーカルであり、それぞれの曲の作詞・作曲を手がける彼が生い立ちから現在までの幼少時代やバンド結成前のことを語ってくれます。

また、SEKAI NO OWARIやMAN WITH A MISSION、きゃりーぱみゅぱみゅ、椎名林檎の公演模様やインタビューも掲載されています。音楽が好きな人、興味がある人は読んでみてはいかがでしょうか。新たな発見があるかもしれませんよ!

<EI>



「借りぐらしのアリエッティ」
778.77/K

今夏のジブリ作品の米林監督の初監督作品。小人が人間の家に「借りぐらし

をしているという設定です。もし人間が小人になってしまったり、こんな感じなんだなあと考えさせられる作品です。小さいからこそ見れる世界があったり、小さいからこそある危険がたくさんあるということを知ることができず、スリル満点です。

さらに、米林監督は宮崎監督とは女子主人公の描き方が違うと言われています。今夏の『思い出のマーニー』も含め、これまで作成された他のジブリ作品と細かい部分と比較しながら鑑賞してみるのもおもしろいですよ。 <傘>

HONTAN 展示で 今回のテーマは「旅行」です。北海道の旅や旅行の本を中心に、東北・関東・関西・九州・沖縄の旅や旅行の本を選んでみました。8月8日から夏休みです。この機会に、一人でも、そして家族や友達、恋人と一緒に

編集後記

こんにちは。毎日レポートとテスト勉強に追われているあんこです。一年生は初めてのテストにきつと奮闘中ですね、がんばれ!...私事ですが、近ごろ全く本が読めていなくて、残念です。夏休みはたくさん読めたらいいなと思っております。3冊は読みたいな...。そういえば、オープンユニバーシティのあき先生が、